

- 性フェロモンで対象害虫の交尾を阻害することで発生を抑制
- 薬剤抵抗性を獲得した対象害虫にも有効
- 有機JASに使用できます

難防除害虫の交信かく乱剤

交信かく乱用性フェロモン剤

コンフューザー[®]V

アルミゲルア・ウツバルア・ダイアモルア・ビートアーミルア・リトルア剤



コンフューザーV取付け例(支柱に2本設置)



コンフューザー[®]は信越化学工業株式会社の登録商標です

交信かく乱用性フェロモン剤の詳しい説明はWEBで



交信かく乱用性フェロモン剤

コンフューザー[®]V

包装形態：50本／袋、80袋／箱

有効成分：(Z)-9-ヘキサデセナル……………1.0%
 (Z)-11-ヘキサデセン-1-オール……………0.50%
 (Z)-7-ドデセニル=アセタート……………5.9%
 (Z)-7-ドデセン-1-オール……………3.8%
 (Z)-11-ヘキサデセナル……………24.0%
 (Z)-11-ヘキサデセニル=アセタート……………19.2%
 (Z,E)-9,12-テトラデカジエニル=アセタート……………8.1%
 (Z)-9-テトラデセン-1-オール……………4.2%
 (Z,E)-9,11-テトラデカジエニル=アセタート……………19.5%
 安定剤等……………13.8%

安全性

人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

魚毒性：この登録に係る使用方法では該当がない

特長

- 1 性フェロモン剤の有効成分は微生物等により容易に分解されるため、環境にやさしい防除剤です。
- 2 性フェロモン剤は、殺虫剤と比べても一般的に抵抗性がつきにくいとされています。
- 3 作物への残留も心配なく、輸出用作物にも使用できます。
- 4 殺虫剤の散布回数の削減が期待できます。

コンフューザーVの登録内容

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法
野菜類 いも類 豆類(種実) 花き類・ 観葉植物	交尾阻害	コナガ オオタバコガ ハスモンヨトウ タマナギンウワバ イラクサギンウワバ ヨトウガ	100～200本/10a (41g/100本製剤)	対象作物の 栽培全期間	作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒にディスペンサーを巻き付け固定し圃場に配置する。
		シロイチモジヨトウ	100本/10a (41g/100本製剤)		

使用上の注意事項

- 本剤は、コナガ、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、タマナギンウワバ及びイラクサギンウワバの各成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる次世代の密度低下を目的としていますので、これらの対象害虫の成虫発生初期から収穫期まで連続的に比較的大範囲な地帯で使用する事が望ましいです。
- 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用することが望ましいです。

- 本剤は支柱等に巻き付け、対象地帯に均一になるように設置することが望ましいです
- 急傾斜地、風の強い地帯等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では使用しないでください。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散しますので、必ず使用直前に開封し、使い切ってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意事項

- 本剤は皮膚に対して刺激性がありますので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落してください。
- 危険物第四類第三石油類に属するので火気には十分注意してください。

保管上の注意事項

- 火気をさけ、直射日光が当たらない冷暗所(5℃以下)に密封して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2021年9月現在の知見に基づいて作成されています。